

集落営農組織により地域の水田を守りたい！

～印西市岩戸地区集落営農研修会を開催～

印旛農業事務所改良普及課 令和6年1月15日発

印西市岩戸地区では、担い手の高齢化などにより水田営農の維持が課題となっていますが、座談会を重ねてきた結果、営農を助け合う仕組みを作っていくことになりました。

そこで農業事務所では、岩戸地区における営農方法を具体化するため、集落営農組織を設立して、共同作業により地域内の水田を守っている管内の先進事例について学ぶ研修会を12月8日に開催し、担い手や関係機関等21名が参加しました。

研修会では、先進地区の営農組織のリーダーから、組織の設立経過、事前準備、実際の運営方法などを学びました。参加者から多くの質問が出され、「この方法なら岩戸地区でも取り組めそう」「担い手にとっても繁忙時に助け合いができそう」など、前向きな声が聞かれました。農業事務所では、岩戸地区における集落営農組織の活動開始に向け、引き続き印西市とも連携しながら座談会の開催などを支援していきます。



営農組織のリーダーから実践事例について
詳しく解説していただきました